

Panasonic System Home Telephone システムホームテレホン

- 品番 **VJ-411M** (1外線電話機 電気錠機能 有)
VJ-411MS (1外線電話機 電気錠機能 無)
VJ-611M (2外線電話機 電気錠機能 有)
VJ-611MS (2外線電話機 電気錠機能 無)

操作早見表

部のなまえ

電話機は2外線電話機を示します。



音量の調節

▼ 音量 ▲ で調節
 押すごとに大きくなる
 押すごとに小さくなる

《受話音量(2段階)》

通話中に押す
 (電話を切ると元の音量に戻る)

《呼出音量(3段階)》

使用していないときに押す
 (次に調節するまで同じ音量)

《スピーカー音量(3段階)》

スピーカーから音が聞こえているとき
 (オンフックダイヤル時)に押す
 (次に調節するまで同じ音量)

外線ランプと外線の状態

- 電話がかかってきたら → 赤色で点滅
- 外線を使用中
 - 自分の電話機で → 緑色で点灯
 - 他の電話機で → 赤色で点灯
- 外線を保留中(お待たせ中)
 - 自分の電話機で → 緑色で点滅
 - 他の電話機で → 赤色で点滅



















内線ランプと内線の状態

- 自分が内線通話中 → 緑色で点灯
- 他の人が内線通話中 → 赤色で点灯
- 内線、ドアホンから呼ばれたら → 赤色で点滅

お知らせ

- 1外線電話機の外線ボタンは、
外線 1つになります。
- VJ-411MS、VJ-611MSには電気錠の施・
 解錠機能はありません
 (ボタンの表示は F になっています)。

従来の当社製ホームテレホン108、208に1外線電話機、2外線電話機を接続したときの操作手順

項 目		操 作 手 順		
外 線	電話をかける	 → (外線) → ダイヤル		
	受話器を取らずにかける (オンフックダイヤル)	(外線) → ダイヤル → 〈相手応答〉 → 		
	電話を受ける	〈着信音〉 → 		
	同じ相手に再度かける (再ダイヤル)	 → (外線) → (再ダイヤル)		
	通話中、待ってもら (保留)	〈通話中〉 (保留) →  → 〈保留〉 →  → (外線) → 〈通話〉		
	転 送	近くの電話機に	〈通話中〉 (保留) →  → 口頭連絡 → [受ける人が  → (外線)]	
		遠くの電話機に	〈通話中〉 (保留) → 内線番号(1~8) → 連絡 →  → [受ける人が  → (保留)]	*ファクスアダプター(VJ-6651M) への転送は (保留) を押し約2秒 以内にファクスアダプターの内線 番号を押します。
	短 縮 ダイヤル	記 憶	 → (短縮) → (井) → 短縮番号(01~20) → 電話番号 → (最大32ケタ)  → (短縮) → 	
		かける	 → (外線) → (短縮) → 短縮番号(01~20) ※短縮番号は2ケタ を押します	
	内 線	個別に呼出す	 → 内線番号(1~8) → 呼びかける	
一斉に呼出す		 → (一斉) または (0) → 呼びかける		
受ける		〈呼出〉 → 		
玄関子機からの呼出し		〈チャイム〉 → 		
共同玄関子機、管理事務 室、住戸玄関から呼出さ れたら		呼出音 →  → 通話が終わったら 		
共同玄関の電気錠をあける		共同玄関と通話中 → 	*この機能はVJ-411MS、 VJ-611MSにはありません。	
管理事務室を呼出す		 → (井) → (2)		

《停電について》

停電時は、「受話器を取って外へ電話をかける」「外からの電話を受ける」のみ利用でき、その他の操作はできません。

- 停電時動作の使用保証時間に限りがあります(停電時1ヵ月、停電時連続通話24時間)。
- メモリー(短縮ダイヤル)保持用に、内部に充電式の電池を内蔵していますので、1ヵ月間以上停電した場合は、メモリーの保持ができませんのでご注意ください。そのような場合は、停電復旧後、再度登録し直してください。

交換機・電話機

インターホン・セキュリティ機器などを
正しく安全にお使いいただくために

取扱説明書・安全編

- この説明書は、交換機・電話機・インターホン・セキュリティ機器などに共通の安全に関する注意事項を説明しています。
- お買い上げになった機器に当てはまらない注意事項もありますが、ご了承ください。
- 本書と取扱説明書(別冊)に重複して記載している内容については、本書をご覧ください。(本書に記載していない操作等に関するご注意などは、取扱説明書(別冊)をご覧ください)

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず本書と取扱説明書(別冊)をよくお読みください。

お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

全ての機器に共通

ガスがもれている場所では使用しない



禁止

爆発や火災の原因となります。

●すぐお近くのガス会社に連絡してください。その際、ガスもれの発生した場所から離れたところの電話機をご使用ください。

本体や端子などに水などをかけない



禁止

ショートして火災の原因となります。

●完全に乾いてから使用してください。

異物を入れない



禁止

通風孔などから、金属類や紙類を入れると火災や感電の原因となります。

故障や異常状態では使用しない



禁止

火災や感電の原因となります。

●故障や異常を感じたら、販売店へご相談ください。

警告

■ 全ての機器に共通

通風孔はふさがない



禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

指定以外の端子に電源(AC100V)を接続しない



禁止

ショートして火災や感電、故障の原因となります。

付属品または専用品以外を接続しない



禁止

指定以外の機器を使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

本体をあけたり、分解・改造しない
感電や故障の原因となります。



分解禁止

●内部の点検や修理などは販売店へご依頼ください。

■ 電源コードについて (機器によっては、ACコードと記載している場合があります)

電源コンセントはAC100Vを使用する



指定以外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因となります。

電源コードの電源プラグが接続不完全のまま使用しない



禁止

接触不良により発熱し、火災や感電の原因となります。

●破損した場合は電源プラグをコンセントから抜き、販売店へ交換を依頼してください。

警告

電源コードについて (機器によっては、ACコードと記載している場合があります)

電源コードの電源プラグ(金属部の間)は、ときどきからぶきする



金属部の間にゴミやホコリがたまると吸湿しやすくなり、ショートして火災の原因となります。

- 年1度は販売店と相談してゴミやホコリをとってください。

たこ足配線はしない



過熱してショートや火災の原因となります。

禁止

電源コードの上に重い物を乗せたり、傷をつけたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしない



ショートして火災の原因となります。

禁止

- コードが損傷した場合は使用を中止し、販売店へ交換を依頼してください。

電源コードを濡れた手でさわらない



感電の原因となります。

禁止

電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜く



コードを引っ張って抜くと芯線の露出や断線などにより、火災や感電の原因となります。

電源プラグ
を抜く

警告

電源アダプターについて (機器によっては、ACアダプターと記載している場合があります)

電源コンセントはAC100Vを使用する



指定以外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因となります。

電源コードの電源プラグが接続不完全のまま使用しない



接触不良により発熱し、火災や感電の原因となります。

禁止

●破損した場合は電源プラグをコンセントから抜き、販売店へ交換を依頼してください。

電源コードの電源プラグ(金属部の間)は、ときどきからぶきする



金属部の間にゴミやホコリがたまると吸湿しやすくなり、ショートして火災の原因となります。

たこ足配線はしない



過熱してショートや火災の原因となります。

禁止

●年1度は販売店と相談してゴミやホコリをとってください。

電源コードの上に重い物を乗せたり、傷をつけたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしない



ショートして火災の原因となります。

禁止

●コードが損傷した場合は使用を中止し、販売店へ交換を依頼してください。

電源コードを濡れた手でさわらない



感電の原因となります。

禁止

電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜く



電源プラグを抜く

コードを引っ張って抜くと芯線の露出や断線などにより、火災や感電の原因となります。

警告

電池について

+と-は正しく入れる



電池の発熱や液もれにより、火災やけが、周囲汚損の原因となります。

ネックレスなどの金属物と いっしょにしない



ショートし火災やけがの原因となります。

禁止

●充電式電池は専用のケースに入れて携帯・保管してください。

加熱・分解したり、火の中へ入れたりしない



電池が破裂し、けがや周囲汚損の原因となります。

禁止

乾電池は充電しない



電池の発熱や液もれにより、火災やけが、周囲汚損の原因となります。

禁止

指定以外の電池を使ったり、新・旧の電池や違う種類の電池を混在して使用しない



電池の発熱や液もれにより、火災やけが、周囲汚損の原因となります。

禁止

電池の交換は電源スイッチを切っ て行う



感電の原因となります。

禁止

充電式電池のビニールカバーは、 はがさない



電池の発熱や液もれにより、火災やけが、周囲汚損の原因となります。

禁止

充電式電池を充電するときは、専 用アダプターや専用機器を使用す る



ショートによる電池の発熱や液もれにより、火災やけが、周囲汚損の原因となります。

警告

電池について

長時間使用しないときは、電池を取り出しておく



禁止

電池の発熱や液もれにより、火災やけが、周囲汚損の原因となります。

電池の液もれが起こったら使用しない



禁止

電池挿入部に液がついた状態で使用するとショートし火災の原因となります。

- 万一液が身体についたら、水でよく洗い流してください。

ボタン型電池はお子様の手の届くところに置かない



禁止

誤って飲み込む恐れがあります。

- 飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

コードレス機器の電源について

専用充電台以外で充電しない



禁止

専用充電台以外で充電すると火災や故障の原因となります。

充電端子を金属でショートさせない



禁止

火災や感電、故障の原因となります。

警告

ブラウン管使用機器について

本体をあけたり、分解・改造しない



分解禁止

内部には高い電圧の部分があり、火災や感電の原因となります。

- 内部の点検や修理などは販売店へご依頼ください。

セキュリティ機器について

ガスもれ警報時は電気器具の電源（電源スイッチ）を入れたり、火などを使わない



禁止

爆発や火災の原因となります。

⚠ 注意

■全ての機器に共通

保守・点検・交換時は、電源を必ずOFFにして電源コードを抜く



感電や故障の原因となります。

電源プラグ
を抜く

- 電源コードのある機器または電源アダプターについて適用
- 販売店へご依頼ください。

磁石など磁気を帯びたものを近づけない



禁止

雑音の発生や故障の原因となります。また、映像のある機器では、画像のみだれなどの原因となります。

火気を近付けない



禁止

機器表面や部分が変形・劣化するほか、故障の原因となります。

機器に強い衝撃や振動を与えない



禁止

故障や破損の原因となります。

硫化水素の発生する場所で使用しない



禁止

故障や機器の寿命が短くなる原因となります。

直射日光、暖房設備、ボイラーなどの特に温度の上がる場所に置かない



禁止

機器表面や部分が変形・劣化するほか、故障の原因となります。

不安定な場所に置かない



禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となります。

⚠ 注意

コードレス機器について

充電台に水滴をつけない



禁止

充電端子の接点不良の原因となります。

●充電台は防水構造ではありません。

浴室など湿気の多い場所や塩水などのかかるところでは使用しない。



禁止

故障の原因となります。

2way 機器について

5°C以下で電源を「入」にしない



禁止

故障の原因となります。

常時、電源 ON で使用する



故障の原因となります。

電源の「入」「切」は続けてしない



禁止

故障の原因となります。

放熱のため周囲に物を置かない



禁止

機器内部に熱がこもり、故障の原因となります。

●1分以上の間隔をあけて行ってください。

●周囲 30cm 以内に物を置かないでください。

注意

セキュリティ機器について

感知器や検知器のそばにシンナー、
ストーブなどを近付けない

誤報の原因となります。



禁止

磁気カード使用機器について

磁気カード以外は通さない

故障の原因となります。



禁止

テレコントローラ機器について

外からのテレコン操作はプッシュ
ホン又はプッシュ信号が送れる電
話機を使用する

動作しません。



禁止

松下電器産業株式会社

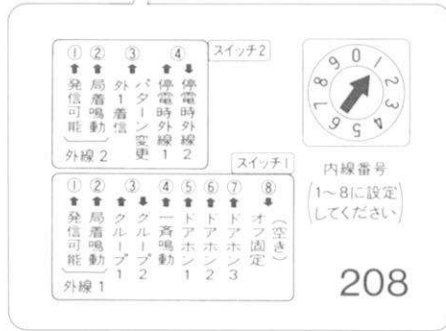
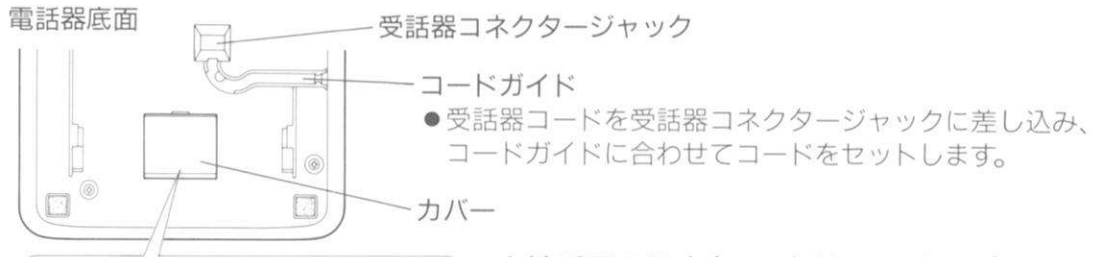
松下通信工業株式会社 コミュニケーションシステム事業部

〒223 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 電話 (045) 531-1231 (大代表)

A0595 - 0
7L0895AZAJ

設定スイッチの設定

電話機ごとに電話機底面のカバーをあげ、それぞれのスイッチを設定します。
スイッチの設定については販売店にご相談ください。



内線番号の設定(ロータリースイッチ)

マイナスドライバーなどで電話機の内線番号を決めます。

お願い

- 他の電話機と同じ内線番号にすると、誤動作の原因になります。(警報音が鳴るとともに内線と外線ランプが点滅します)
- 設定時以外は触れないでください。
- 設定変更するときは、電話機から電話機コードを抜いた状態で行ってください。

《設定スイッチについて》 スイッチ2は2外線電話機にのみあります。

スイッチ	機能	スイッチの位置	内容	スイッチ	機能	スイッチの位置	内容
スイッチ1	① 外線1発信規制	OFF	外線1から、外へかけられなくなります。	スイッチ2	① 外線2発信規制	OFF	外線2から、外へかけられなくなります。
		ON	かけられます。			ON	かけられます。
	② 外線1着信鳴動規制	OFF	外線1に電話がかかっても、呼出音がなりません。		② 外線2着信鳴動規制	OFF	外線2に電話がかかっても、呼出音が鳴りません。
		ON	鳴ります。			ON	鳴ります。
	③ グループ設定(注)	OFF	グループ2に設定されます。		③ 外線1着信音切換	OFF	電話がかかると、ブルル…が約1.5秒おきに1秒間鳴ります。
		ON	グループ1に設定されます。			ON	ブルル…が2秒おきに1秒間鳴ります。
	④ 一斉鳴動規制	OFF	内線一斉呼出されたとき、呼出音が鳴りません。		④ 停電時外線1/外線2	OFF	外線2にします。
	ON	鳴ります。	ON			停電時、電話をかけたたり受けたりする外線を外線1にします。	
⑤ ドアホン1鳴動規制	OFF	玄関子機1から呼出されたとき、呼出音が鳴りません。					
⑥ ドアホン2鳴動規制	OFF	玄関子機2から呼出されたとき、呼出音が鳴りません。					
⑦ ドアホン3鳴動規制	OFF	玄関子機3から呼出されたとき、呼出音が鳴りません。					
⑧ 未使用	OFF ON	固定(必ず「OFF」にしてください)。					

(注)ホームテレホン108、208ご使用の場合、グループ設定は、できません。

※お買い上げ時は、スイッチ1の⑧を除いて、スイッチの位置は、「ON」に設定されています。

システムホームテレホンに接続してお使いの ときの操作手順

項 目		操 作 手 順	
外	外へ電話をかける	→ (外線) → ダイヤル → 通話が終わったら	
	受話器を取らずに外へ電話をかける	(外線) → ダイヤル → 相手が出たら → 通話が終わったら	
	外からの電話を受ける	呼出音(プルルル) → → 通話が終わったら	
	待ってもらう(保留)	お待たせするとき (保留) → → 通話に戻るとき → 外線ランプが緑色で点滅している (外線)	
	他に取次ぐ(保留転送)	通話中 (保留) → 内線番号(1~8) → 呼びかけ、相手がでたら伝える → [呼ばれた人は外線ランプが赤色で点滅している (外線)]	
	同じ相手にかけ直す(再ダイヤル)	相手が話し中のとき	電話を切らずに (再ダイヤル)
		電話を切ったあと	→ (外線) → (再ダイヤル)
短縮ダイヤル	かける	→ (外線) → (短縮) → 短縮番号(01~20) ※短縮番号は2ケタを押します	
	記憶	→ (短縮) → (井) → 短縮番号(01~20) → 電話番号(最大32ケタ) → (短縮) → 終わったら	
内	家の中を個別に呼出す(内線個別呼出)	→ 内線番号(1~8) → 呼びかける → 通話が終わったら	
	家の中を一斉に呼出す(内線一斉呼出)	→ (一斉) または (0) → 呼びかける → 通話が終わったら	
	家の中から呼出を受ける	呼出音(プー)・音声 → → 通話が終わったら	
	玄関子機からの呼出を受ける	呼出音(ピンポン) → → 通話が終わったら	
	玄関子機を呼出す	→ (井) → 玄関子機の番号(1~3)	
線	呼ばれていない電話機から内線の呼出を受ける	他の電話機から呼出音 → → (一斉) または (0) → 通話 → 通話が終わったら	
	電気錠を解錠・旋錠する	解錠または旋錠したいとき ※電気錠制御器HX-715を接続していない場合、使用できません。 ※この機能はVJ-411MS、VJ-611MSにはありません。	